

2020年度 年末手当回答＋追加支給要求シリーズ⑥

東日本ユニオン 中央本部

これが現場社員の声だ！

- 2.2ヶ月の回答を受け、何も考えることができない状況でした。追加支給の取り組みを聞き、満額回答を勝ち取れるように職場から本部交渉団を支えています！
- 本部の判断を全面的に支持します！
今回の会社回答は、コロナ禍で懸命に働いている社員を「ないがしろ」にしていると感じます。
訓練会中に「今の状況は赤字で大変だ」と社員に対して危機感を煽り、低額支給を匂わせ、納得させようとしていることに腹が立ちました。赤字の経営責任を取って、経営者は報酬削減すべきだが、社員に負担を求めすぎだ！生活給と会社は認識しているのであれば、業績とは連動していないと言っていることからすれば、追加支給をするべきだ！
- 対前年で31%もの減では生活が成り立ちません。それでも会社幹部の報酬が社員以上に「減」となるなら、まだ納得もいくのですが、取締役等の20%の自主返納ではバランスが悪すぎます！あえて現場で社員が声に出せないことを言わせてもらいました。
- 超低額回答に怒りを覚えます。会社はこの間「社員の家族と幸福」と言っていますが、どこに幸福が見えるのでしょうか？景気が悪くても賞与を与えれば幸福なののでしょうか。言葉は悪いですが、餌を与えて置けばよい金魚ではありません。生きるための生活がかかっているのです！景気も徐々に上がってきており、会社の月次を見ると、対前年比70%超まで上がってきています。これは社員の頑張りだと思えます！
東日本ユニオンは追加支給の申し入れをしました。これぞ真の労働組合の姿ではないでしょうか！
- 対前年比31%カットするなら、会社幹部の手当はそれ以上にカットして、姿勢をみせるべきではないでしょうか。
- 会社は「重く受け止める」と回答していますが、それでいて2.2ヶ月の回答とは重く受け止めているとは到底思えません。断固として追加支給を求めよう！
- 世の中の情勢を見て「ボーナスが出ただけでもいい」などという社員もいます。私たちはそんなJR東日本会社をつくってきた覚えはないぞ！と言いたい！